

# 1 カリキュラム・ツリー

カリキュラム・ツリーとは、専門教育科目のカリキュラムにおいて、学生が卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性を系統図的に可視化したものです。カリキュラムの年次進行、授業科目間のつながりなど、カリキュラムの体系性が一望できるようになっています。

## 現代子ども教育学科

青字は必修科目

		1 年	2 年	3 年	4 年
学科基礎科目		<b>子ども学概論</b> ★ インクルーシブ教育論 ★ <b>教育原論</b> ★ 社会福祉 ★ 生涯発達心理学概論 ★		多文化共生社会と日本語 ★ 教育者・保育者のためのライフ・プロモーション ■	
金城子ども教育プログラム	協働プログラム	子ども運動プロジェクト ★		子どもと絵本をつなぐプロジェクト(1) ★ 子どもと絵本をつなぐプロジェクト(2) ★ 子どもアトリエプロジェクト ★ 子ども支援・ケアプロジェクト ★ 異文化間コミュニケーション(海外実習) ★	
	実践力プログラム			ICTを活用した保育記録の作成 ★ 授業づくり・学級づくり入門 ★	保育職実践力探究 ★ 教職実践力探究 ■
	現場体験プログラム	保育インターンシップA ■ 教職インターンシップA ■ 教職インターンシップB ■ 自治体・NPOインターンシップ ■	保育インターンシップB ■		
学科展開科目	保育士資格関連科目	保育原理 乳幼児期発達心理学 子どもの理解と援助 保育の計画と評価 乳児保育A	子ども家庭福祉 社会的養護A 社会的養護B 子どもの保健 乳児保育B 子どもの健康と安全 障害児保育 保育実習A 保育実習指導A 保育実習C 保育実習指導C	子ども家庭支援論 子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 子育て支援 保育実習B 保育実習指導B	保育実習D 保育実習指導D
	幼一種免関連科目	領域(健康) ● 領域(人間関係) ● 領域(環境) ● 領域(言葉) ● 音楽A □ 音楽B □ 造形表現A □ 造形表現B □	領域(表現) ● 保育内容の指導法(健康) ● 保育内容の指導法(人間関係) ● 保育内容の指導法(環境) ● 保育内容の指導法(言葉) ● 保育内容の指導法(表現・音楽) ● 保育内容の指導法(表現・美術) ● 音楽C □ 保育者・教育者論 ■ 教育課程計画法 ■ 教育方法論 教育の方法及び情報通信技術の活用 ▲	保育内容総論 ● 教育実習(幼小) ● 教育実習法(幼小) ●	
	小一種免関連科目	日本国憲法 ■ 発達と学習 ■	国語科研究 社会科研究 算数科研究 理科研究 国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 道徳教育論 ▲	生活科研究 音楽科研究 図画工作科研究 家庭科研究 体育科研究 英語科研究 生活科教育法 音楽科教育法 図画工作科教育法 家庭科教育法 体育科教育法 道徳教育演習 ▲ 特別支援教育論 ■ 教育実習(小中) ○ 教育実習法(小中) ○	英語科教育法D ▲ 総合的な学習の指導法 ▲ 特別活動論 ▲ 生徒・進路指導とキャリア教育論 ▲ 保育・教職実践演習 ★ 教育相談 ■
	中一種免関連科目	英語コミュニケーション論 ▲ 異文化理解入門 ▲ メディア英語	英語研究入門(1) ▲ 英語研究入門(2) ▲ コミュニケーション英文法 英語科教育法A ▲	Oral Presentation(1) Oral Presentation(2) 英米文学入門 英語コミュニケーションの技法A 英語コミュニケーションの技法B 英語科教育法B ▲ 英語科教育法C ▲	英語コミュニケーションの技法C 英語コミュニケーションの技法D
演習科目	子ども学基礎演習(1)	子ども学基礎演習(2)	子ども教育学演習(1) 子ども教育学演習(2)	子ども教育学演習(3) 子ども教育学演習(4)	
卒業論文				卒業論文・卒業制作	

※複数の資格免許に関わる科目については、複数の資格関連科目欄に重複して記載はせず、1つの資格関連科目欄に記載をしています。(重複する場合は、下記の記号指示を参照してください。)

●：保・幼 ○：幼・小 ■：幼・小・中 □：保・幼・小 ▲：小・中 ★：保・幼・小・中

※現代子ども教育学科専門教育科目のみを記載しています。履修方法の詳細につきましては、課程表を参照してください。